

風土が育んだ、 作家たちの感性。

信州の厳しい自然に導かれた、多彩な表現者たち。
国宝の村に流れる芸術の気配を、感じてください。



山本鼎「こっば入形」

主な収蔵作家 小山敬三 / 丸山晩霞 / 林しずえ / 香掛利通 / 伊東深水 / 櫻田晴義 / 瀬川康男 / 中村直人



季節を映す、 窓辺の特等席。

鑑賞の後は、
青木村の四季を眺めながら
ゆっくりと一息つきませんか。

美術館入館料とのお得な喫茶セット券もごございます

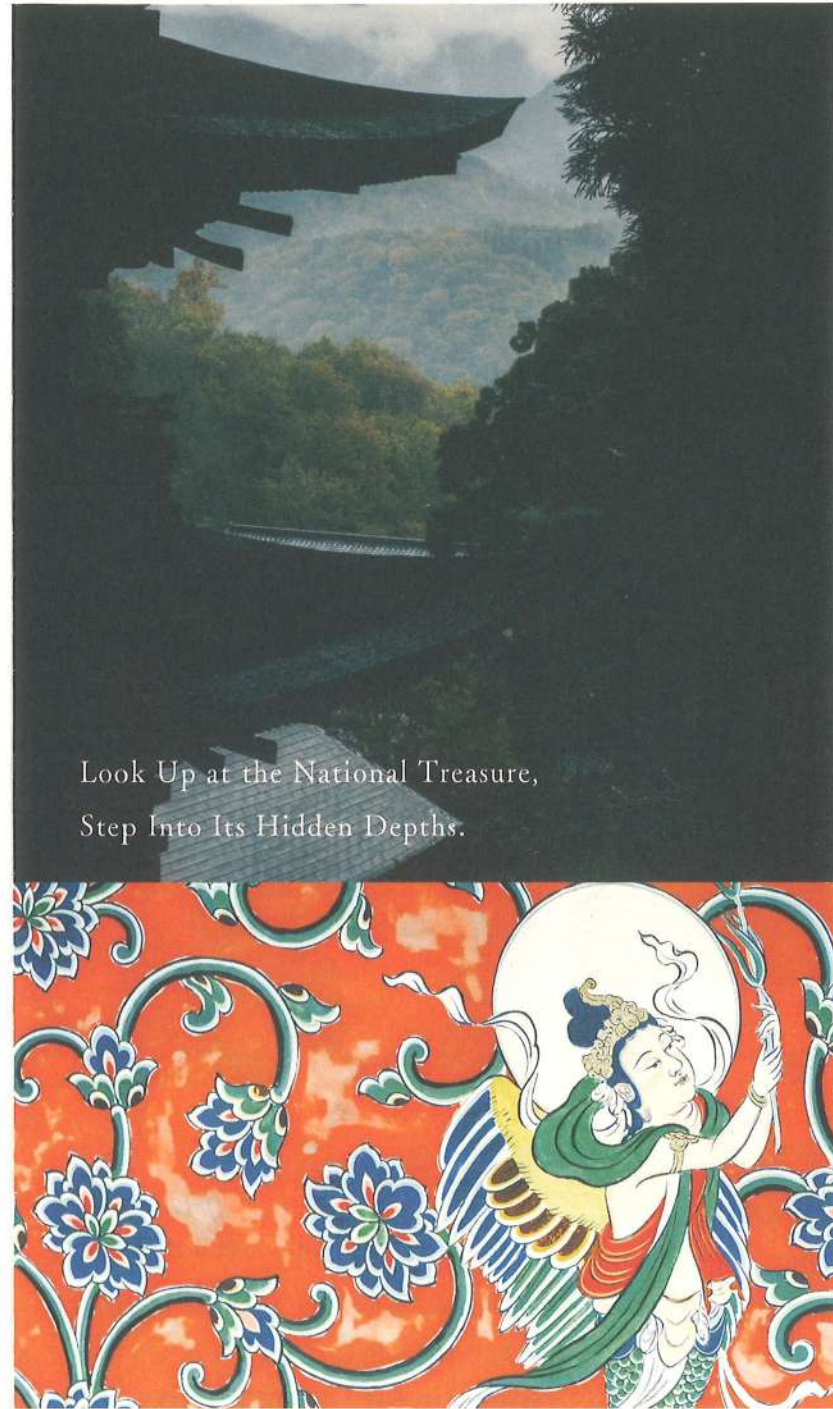
青木村郷土美術館

開館時間 9:00 - 17:00 最終入館 16:30

休館日 月曜日 祝日の場合は翌日 / 年末年始

入館料 大人200円 / 高校生以上150円 / 小・中学生100円
*20名以上の団体料金は50円引
*障害者手帳携帯者とその介助者1名は50円引

386-1603 長野県小県郡青木村大字当郷2051-1
TEL 0268-49-3838 / FAX 0268-49-3838
大法寺から徒歩1分 / 千曲バス「当郷」から徒歩12分

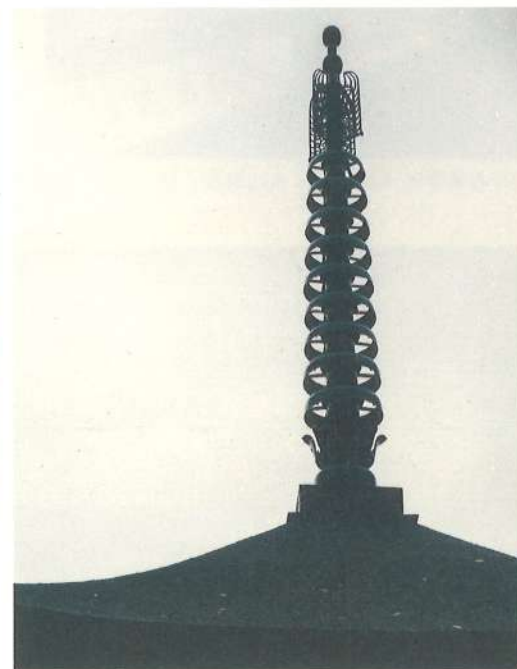
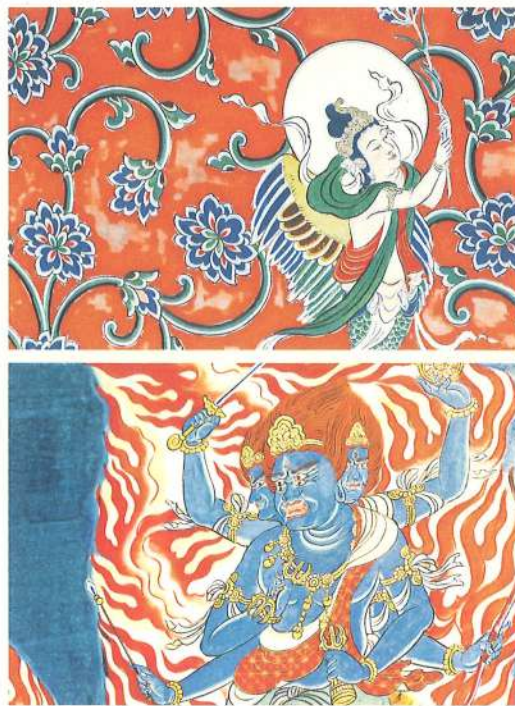
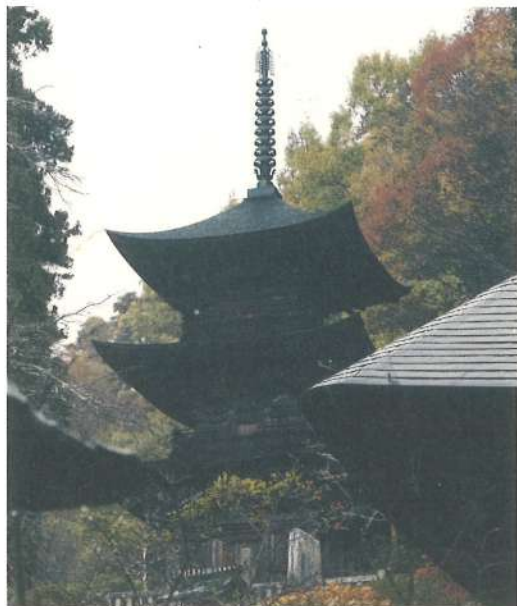


Look Up at the National Treasure,
Step Into Its Hidden Depths.

見上げた国宝、
その「中」へ。

国宝 大法寺三重塔の「中」には、
七百年の色彩が眠っていた。
すぐ隣の美術館で、その深淵へ。

細部に宿る、国宝の真実。 — 四つの記憶を辿る。



国宝への軌跡

なぜ、人はこの塔を二度見上げるのか。

鎌倉末期、名工・天王寺四郎が
尽くした純和様建築の粋。

「見返りの塔」と呼ばれるゆえんと、
七百年の時を紡ぐ歴史ドラマを紐解きます。

極彩色の壁画

通常非公開。その「中」に眠る、鮮烈な記憶。

塔の内部に描かれた、極彩色の仏の世界。
実物の塔では決して見ることのできない、
時を超えた色彩を再現展示で公開します。

至高の意匠

数千枚の「檜皮」が描く、優美な曲線。

数十年に一度の葺き替えで守り継がれる、
職人の手仕事。

国宝を支える情熱と日本文化を、
貴重な映像と記録で間近に感じてください。

国宝の記憶をなぞる、自分と向き合う一日を。

写経体験セット 2,500 円(税込)

写経体験 @美術館 + 美術館入館 + 喫茶(お茶付)

要予約 TEL 0268-49-2256 (大法寺) ©空きがあれば当日可

継承の記録

見上げるだけでは、捉えきれない祈りがある。

天を突く水煙の造形から、
建築の随所に刻まれた優美な文様まで。
匠が込めた細部の美意識を、
鑑賞できる距離で丁寧な解説します。